

本資料は、履修に関する理解を助けるために、その概要を記したものである。
厳密な情報については、学生便覧（経営管理研究科）を参照されたい。

一橋大学大学院経営管理研究科 経営分析プログラム



履修ガイダンス
2026年度向け

大学院教育専門委員
中島賢太郎・福地宏之

ビジネススクールの国際認証

◆ AACSB

- 1916年にアメリカで設立されたマネジメント教育の代表的な国際認証機関
- 一橋大学大学院経営管理研究科経営管理専攻（SBA）は2021年7月に認証を取得
 - 日本国内で6校目、国公立大学としては初めて
 - 学部、MBA、研究者養成コースの全てのプログラムについて認証を取得



経営管理専攻のミッション



WE FOSTER CAPTAINS OF INDUSTRY WHO CREATE VALUE FOR BUSINESS AND SERVE COMMUNITIES IN ASIA.

LEADERSHIP

To educate leaders
with insightful knowledge
and effective communication skills.

INNOVATION

To develop professionals
with creativity
and advanced professional skills.

INTEGRITY

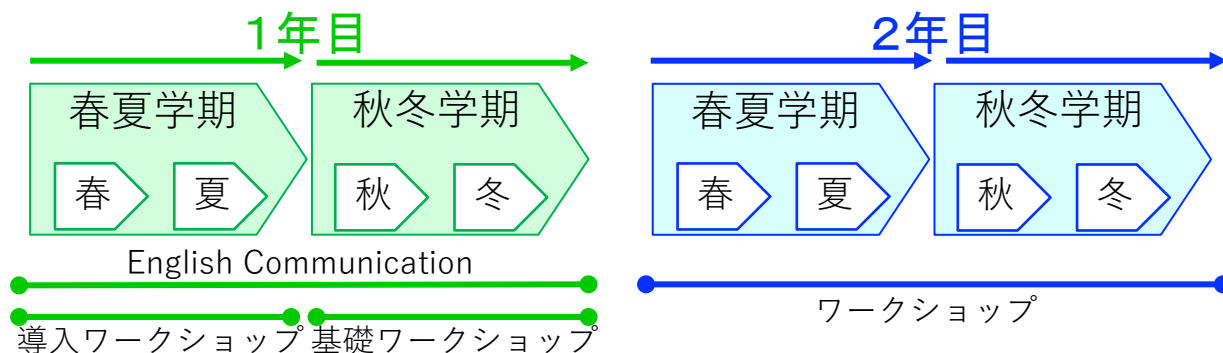
To foster community-minded citizens
who think beyond themselves
and apply global perspectives.

授業科目について

講義と演習（ワークショップ）

◆ 1コマ 105分

- 1限 8:45～10:30
- 2限 10:45～12:30
- 3限 13:15～15:00
- 4限 15:15～17:00
- 5限 17:10～18:55

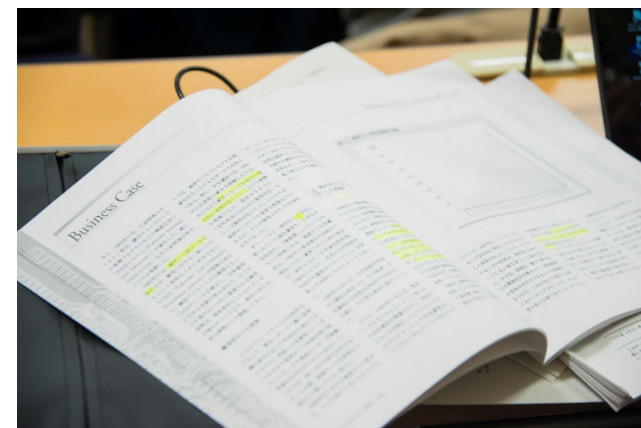


◆ 講義

- コア科目、選択科目
- 週1回 半期（春夏学期、秋冬学期）
- 原則として、1科目2単位
 - 「English Communication」は週1回 通年 2単位
- 履修登録しない聴講参加は原則禁止。
- 一部制限はあるが、学部発展科目を履修可能。
 - ただし、修了要件に必要な単位数には組み込まれない。

◆ 演習（ワークショップ）

- 1年次（春夏学期）：導入ワークショップ（割当制）2単位
- 1年次（秋冬学期）：基礎ワークショップ（割当制）2単位
 - 指定学年で単位を修得できなければ留年するので要注意。
- 2年次（通年）：ワークショップ（選考制）6単位
 - 履修条件は、コア科目必修4科目のうち2科目、英語コミュニケーション科目「English Communication」、導入・基礎ワークショップの各単位を1年次において修得済みであること。



修了要件の満たし方 履修パターン

単位	経営分析プログラム
2	英語コミュニケーション科目(1年)
4	コア科目①(経営戦略)(必修)
6	コア科目②(マーケティング)(必修)
8	コア科目③(財務会計)(必修)
10	コア科目④(企業財務)(必修)
12	コア科目⑤
14	コア科目⑥
16	コア科目 選択科目 副演習
18	
20	
22	
24	導入ワークショップ(1年)
26	
28	基礎ワークショップ(1年)
30	ワークショップ(2年)
32	
34	
その他	

◆ 修了要件：合計34単位以上

- うち、英語コミュニケーション科目 2単位
- うち、講義科目から24単位以上
 - うち、コア科目 12単位以上
 - うち、「経営戦略」「マーケティング」「財務会計」「企業財務」の4科目(8単位)を修得すること。
- うち、演習科目 10単位
 - 導入ワークショップ 2単位
 - 基礎ワークショップ 2単位
 - ワークショップ 6単位

コア科目(必修)4科目のうち2科目、導入・基礎ワークショップ、英語コミュニケーション科目を修得しなければ、2年次のワークショップを履修できない(つまり、留年する)ので、要注意。
5年一貫生のうち、派遣留学のために導入ワークショップ、英語コミュニケーション科目を履修できないものについては、他の科目の修得をもって代えることのできる措置があるので、速やかに経営管理研究科に確認して対応すること

◆ 副演習

- 選択科目として、毎年度4単位まで算入可能。

◆ 研究者養成コースや他研究科の講義

- 「その他科目」扱いとなり、修了要件34単位には含まれない。

5年一貫生は、学部4年次に修得した大学院講義・演習の16単位までを、大学院入学時に修得単位として算入できる。

※各講義で重い課題が出るため、あまり多くの講義を履修することは勧めない。

履修手続き 重要日程

◆ 履修登録期間

- それぞれ定められた期間内にCELSシステム上で履修登録を行うこと。
- 春夏学期：4月8日（水）～15日（水）
- 秋冬学期：9月11日（金）～18日（金）

◆ 履修撤回期間

- 春夏学期：4月22日（水）～4月28日（火）
- 秋冬学期：9月30日（水）～10月6日（火）
- 履修撤回をしないと「F」となる

◆ 反復履修の制限

- 単位修得済みの科目を反復履修することはできない。
 - 担当教員が異なっても反復履修できない。



参考

修了年月	2026年9月	2027年3月	2027年9月(予定)
題目提出	2026年4月1日(水)	2026年10月30日(金)	2027年4月1日(木)
ワークショップレポート提出 (申請時)	2026年5月8日(金)	2027年1月7日(木)	2027年5月10日(月)
ワークショップレポート提出 (最終時)	2026年6月30日(火)	2027年2月12日(金)	2027年6月30日(水)

プログラム間の履修可否について

科目分類		学生所属	修士課程				博士後期課程			5年一貫 学部4年次		交流学生・研究生	(他研究科院生 （非正規生含む）)	
科目区分	科目番号	研究者養成コース	経営学修士コース 経営分析プログラム	経営学修士コース 経営管理プログラム	金融戦略・経営財務プログラム	研究者養成コース	イノベーション・マネジメント・プログラム 研究者養成コース	金融戦略・経営財務プログラム	研究者養成コース	経営分析プログラム				
大学院	研究者養成コース科目	400~800番台	○	△(※1)	△(※1)	△	○	△(※7)	△	○	△(※1)	△	△	
	研究者養成コース イノベーション・マネジメント・プログラム科目	600・800番台	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
	経営学 修士 コース	経営分析P科目	400・500番台	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×
		経営管理Pコア科目、演習	500番台	×	×	○	×	×	△	×	×	×	×	×
		経営管理P選択科目	500番台	×	★(※1)	○	×	×	○	×	×	×	×	×
		FSプログラム基礎科目	500・600番台	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
		FSプログラム演習	500・800番台	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
		FSプログラム専門科目、副演習	500・600番台	■	■(※1)	■(※1)	○	■	×	○	×	×	×	■
	ICS専攻科目	500・600番台	■	■(※1)	■(※1)	●	■	×	●	×	×	×	×	
	法学研究科ビジネス・ロー専攻基本科目、発展科目	500・600番台	×	×	△(※1)	△	×	×	△	×	×	×	×	△
他研究科科目	400~800番台	△	△(※1)	△(※1)	△	△	△(※1)	△	△	△(※1)	△	◆		
学部	全学共通科目 ^(※6)	100~300番台	×	×	×	×	×	×	×			○		
	商学部	導入科目	100番台	×	×	×	×	×	×	×			△(※4)	
		基礎科目	200番台	×	×	×	×	×	×	×			○	
		発展科目	300番台	○	○(※1)	○(※1)	×	×	×	×			○	
	他学部	導入科目	100番台	×	×	×	×	×	×	×			◆	
		基礎科目	200番台	×	×	×	×	×	×	×			◆	
		発展科目 ^(※2)	300番台	△	△(※1)	△(※1)	×	△	×	×			△	
	HGP科目(含む国際交流科目)	100~300番台	△(※3)	△(※1-3)	△(※1-3)	×	△(※3)	×	×			○		
ゼミナール	800番台	×	×	×	×	×	×	×			△			

○：履修可
 △：一部を除き履修可（他学部・研究科科目を履修する場合は、学部履修規則や当該研究科の規則等を確認のこと）
 ■：当該科目を設置する専攻長の承認が必要
 ×：履修不可
 ★：3年以上の実務経験のある学生のみ、人材マネジメント、テクノロジー・マネジメント、シナリオ・プランニング、ホスピタリティ・マネジメント、ホスピタリティ・マーケティング、特別講義（ホスピタリティ）、特別講義（ホスピタリティ・コンサルティング）、特別講義（デスティネーション・マーケティング）、ビジネス・デベロップメント、経営実戦論、経営者講義A・B・Cを履修可。
 但し、修了要件に必要な単位数には含まれない。
 理由書を提出の上、MBAディレクター及び大学院教育専門委員の承認が必要

(※1) 履修できるが、修了要件に必要な単位数には含まれない
 (※3) 導入科目（100番台科目）及び基礎科目（200番台科目）は履修不可

成績評価について

◆ 試験

➤ 学科試験（講義の試験）

- 教員ごとに試験日や課題提出期限を定める場合があるので要注意。

➤ 論文試験（ワークショップレポート）

- 主論文×1部、写し×2部、要旨×3部
- ワorkshop指導教員を含む2名が評価

➤ 最終試験（口述試験で最終評価を行なう）

- 中間報告会、最終報告会（複数WS合同）

◆ 成績

➤ 講義： A+、 A、 B、 C（以上が合格）、 F（不合格）

➤ 演習： E（合格）、 F（不合格）

➤ 論文試験（ワークショップレポート）： A+、 A、 B、 C、 F

➤ 最終試験（ワークショップレポート）： A+、 A、 B、 C、 F

守るべき倫理について 「学習と研究に関わる誓約書」への署名

- ◆ 「一橋大学における研究活動に係る行動規範」の遵守を誓約すること。
- ◆ 下記の不正行為を行った場合には厳重な処分を受けることを認識し、当該不正行為及び不正行為と疑われる行為を行わないことを誓約する。
 - 試験におけるカンニング行為
 - 試験、レポート及び学位論文における剽窃・盗用、ねつ造、改ざん
 - 剽窃・盗用：他の研究者等のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者等の了解・適切な表示なく流用すること
 - ねつ造：存在しないデータ、研究結果等を作成すること
 - 改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること
 - 授業、試験、レポート及び学位論文におけるなりすまし
 - 研究活動における虚偽記載、二重投稿、研究費の不正使用
 - 授業で使用する資料及び授業内容（動画含む）、大学で提供するデータ、および授業に関するグループワーク等を通じて他者が関与して得られたアイディア等について、適切な許可を得ずに利用または講評すること
 - その他社会通念に照らして学習と研究に係る不適切な行為
 - 上記の行為への協力及び援助
- ◆ 「学習と研究に関わる誓約書」を熟読し内容を理解した上で、CELSを通じて誓約すること。

守るべき倫理について

研究倫理教育eラーニング eAPRIN受講

- ◆ 大学院における研究倫理を周知・徹底させるために、公正研究推進協会提供の研究倫理教育eラーニング eAPRINの受講を義務付けている。
 - 大学メールアカウント宛てに受講案内が届く予定なので、速やかに受講すること。
 - 受講状況は事務室で確認可能。
 - 受講しなかった場合、翌年度の履修登録ができなくなる可能性がある。

教員・事務からの諸連絡手段 manabaとメーリングリスト

講義や休講等は、以下の2つを通じて連絡される。

◆ manaba

- レポートの提出、テスト・アンケートの回答、資料の閲覧等を行うシステム



The screenshot shows the Hitotsubashi University website with a notice regarding system suspension. The notice is titled "システムサービス停止のお知らせ Notification of Temporal Suspension" and states that services will be unavailable due to a power cut on February 18th. A green circle highlights the "manaba" logo in the right-hand navigation menu.

一橋大学

HOME お問い合わせ先一覧 資料請求 アクセスマップ サイトマップ ENGLISH CHINESE KOREAN

検索キーワード

PRINT

一橋大学で学びたい方へ 在学生の方へ 卒業生の方へ 留学生・留学希望の方へ 学外の方へ 保護者の方へ

大学案内 研究科・学部 研究所・附属施設等 図書館・資料室 研究活動案内 点検・評価 情報公開

ホーム > 在学生の方へ > 授業・履修 > 教務関係 システム利用案内

教務関係 システム利用案内

システムサービス停止のお知らせ Notification of Temporal Suspension
電気設備定期点検等に伴う計画停電により下記の期間はCELS・manabaをご利用いただけません。

CELS and manaba services will be unavailable due to the power cut as follows.

記
2/18(火)終日 (all day) (manabaのみ)

※状況により、予定時刻が前後する場合があります。停電終了時の連絡は予定しておりません。お手数ですが、メンテナンス終了時刻以降にログインをお試ください。

学務情報システム CELS (Campus Education Learning System "CELS")

学務情報システムCELSは学生の履修登録、成績確認、ゼミナール選考方法・結果確認、休講・補講確認を行うことができるシステムです。また、授業のシラバスも公開しています。ログインには、一機IDとパスワードをご利用ください。

【システムにログインできない場合】
2019年2月13日に、情報基盤センターにてログイン認証に使用するシングルサインオンサーバの切替を行ったため、ご利用の環境によってはログインできないという問題が発生しています。

在学生の方へ

学務情報システム CELS

ポートフォリオシステム manaba

- ◆ 教務関係 システム利用案内
- ◆ お知らせ
 - ◆ 在学生へのお知らせ
 - ◆ 授業・履修
 - ◆ 大学の休講措置
 - ◆ 各種申請等
 - ◆ 他大学との交流
 - ◆ 相談窓口
 - ◆ 学生支援センター
 - ◆ 保健センター
 - ◆ 全学共通教育センター
 - ◆ 学生ビジネスプランコンテスト
 - ◆ 学年暦

出所: <http://www.hit-u.ac.jp/kyomu/info/ct.html>

◆ メーリングリスト

- 大学のメールアドレスを登録する。
- 授業期間中か休業期間中かにかかわらず、必ず定期的に確認すること。

その他

◆9月修了について

- 履修期間が2年を超える場合、修了要件を満たせば9月修了を選択することもできる。

◆事務室への問い合わせ

- 証明書の発行などに関する問い合わせについては、国立キャンパス法人本部棟3階の経営管理研究科事務室またはマーキュリータワー7階のMBAオフィスに連絡すること。
- 証明書の発行には1週間ほど要する場合がありますので、早めの連絡を心がけられたい。

導入ワークショップ初回課題のお知らせ

- ◆ 以下の3点に関するレジュメ（A4用紙1枚程度）を用意すること。なおレジュメはmanabaを通じて共有する。
 - ① 自己紹介
 - ② 関心のあるテーマ
 - ③ MBAで力を入れて学びたいこと
- ◆ 以下の書籍を各自で入手し、持参すること。
 - 苅谷剛彦（2002）『知的複眼思考法：誰でも持っている創造力のスイッチ』講談社+α文庫
 - 小熊英二『基礎からわかる論文の書き方』講談社現代新書